

●しゃらくかい

# 写楽同会

平成31年2月28日 038

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko\_thompson@hotmail.com

© 2019 Sharakukai

如月兼題「動物」 出題：久芽

## 写真俳句



### 1 猫の恋闇に飛び交うオノマトペ

猫の世界も生存競争が激しい。早春の夜は特に騒々しい。

※オノマトペ=擬音語、擬声語、擬態語

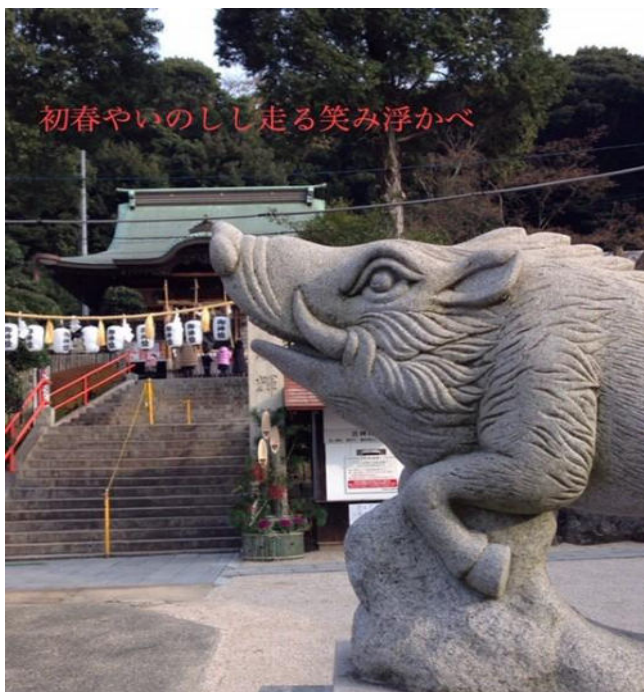


あせい

かと

### 2 蛙声なき沼にも元気蝌蚪の群れ

蛙の姿や鳴き声など聞こえなくなって久しいですが、春先近くの親水公園の沼にはオタマジャクシが元気に泳いでいました。ただ、何匹が蛙まで成長するのか・・・。



### 3 初春やいのしし走る笑み浮かべ

怪我をした和氣清麻呂を乗せて走ったとの言い伝えがあります。



寒の川ただひたすらに小鷺かな

#### 4 寒の川ただひたすらに小鷺かな



やんちゃゴリラ  
毛布離さずランチする

#### 5 やんちゃゴリラ毛布離さずランチする

この毛布はゴリラ同士の奪い合いで手に入れ、  
食事の時も手放しませんでた。



冷える朝  
白い梅花に  
黒い犬

#### 6 冷える朝白い梅花に黒い犬



れいめい

## 7 黎明を待つ事もなし猫の恋

我が家の回りから夜明けを待たずに鳴き声が……。ちなみに「猫の恋」が季語です。



## 8 羊らの反芻のあご土匂う

立春を過ぎ草の味も良くなったか。季語は「土匂う」。

### 俳句

#### 1 うららかに老いたる犬や微睡 (まどろ) みて

人間なら百歳を超えた友人の柴犬。寝姿も小さくなりました。

#### 2 遠吠えを聴きて足早月冴ゆる

犬の遠吠えには寂寥感が漂いつい家路を急ぎます。

#### 3 イノシシの印を仕舞いて春を待つ

また12年後の年賀状に使える様、押入れの奥に。

#### 4 小春日に我が椅子に寝る隣猫

この猫には人の家に来ているという意識があるのでしょうか？

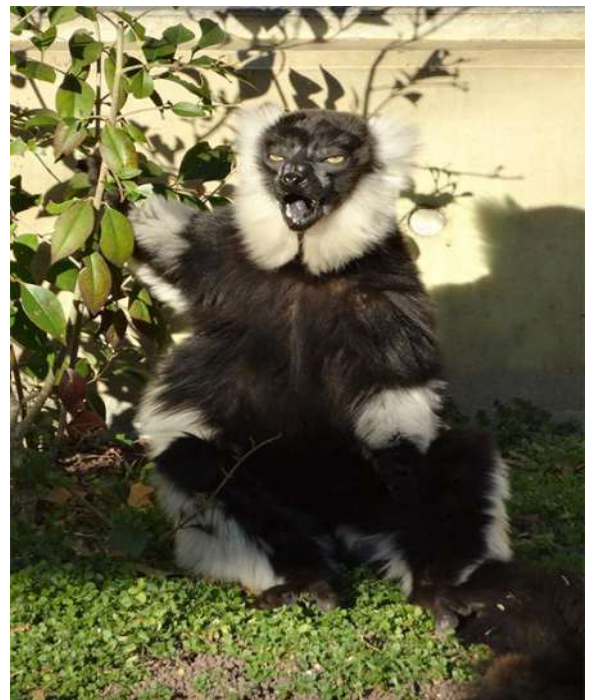
#### 5 かくれんぼ尻尾隠れず炬燵猫

猫が炬燵の中に逃げていきました。でも尻尾だけ少し見えておりました。

#### 6 しも柱ザクザクザクと白い犬

#### 7 陽だまりの動きと猫と日向ぼこ

親類宅に滞在中、その家の猫を見ていて詠みました。



上野動物園で撮ったマダガスカル産の「クロシロエリマキキツネザル」です。コワモテの顔をして座ってひなたぼっこしてました（撮影：久芽）。

**短歌**

〈花シリーズ 9〉

寒空を  
物ともせずに春あつめ  
溢れるごとき咲く  
枝垂れ梅

準坊

埼玉 川口神社の片隅に見事な  
枝垂れ梅が咲いていました。

**川柳**

老老の介護犬抱く散歩かな 昼寝覚

腰の曲がったご老人が大事そうに犬を抱いて散歩されていました。ご自身の散歩なのか犬の散歩なのか？

牛タンに思わず鳴らす舌鼓 準坊

牛の舌に人間の舌が反応。本場仙台で堪能して来ました。

イギリスの離脱に泣くやメイメイと 準坊

EU離脱問題にメイ首相も窮地に立ってますね。

恵方巻節分終えて豚のえさ 池福楼

デパ地下は物凄い量の巻き寿司が。食品ロスは今後もまた。

なおみちゃん一振りオレの年収分 池福楼

全豪テニス優勝賞金3億2千万。

この頃はなにを買っても一生モン 北切雀

一生物というフライパンを買ったのですが、この歳になったら．．．。

**写真投稿**

準坊

「松島の怪奇写真」



松島で不思議な現象を目撃しました。

1月4日12:10 頃に瑞巖寺前の湾で海面に突然煙の様なものが昇りました。周りには船も無く煙はかなりの高さまで巻き上がっていました。やがて消えましたが何だったのか未だに解りません。この現象についてご存知の方はお知らせください。



### 時の鐘

川越の象徴です。



### 養寿院

川越の大きな寺院で、河越重頼（川越城城主）の墓があります。



### 寒の鯉

天然寺の鯉（HPにこの一部を利用しています）。

### 北切雀

### 「英国の猫カフェ」

英国リーズ市にも日本のアイデアを導入した猫カフェがあります。ショバも選んで「魚通り」。



<< >>は作者コメント、\* は読者コメントです。

\* 1月号は心惹かれる句が多くて、2票の投票では足りないと思いました (CSさん)。

**写真俳句** 投票数：28

**一席**

**手焙 (てあぶ) りや炭のことりと崩れ落ち**

iSAMU (9票)

手焙や炭のことりと崩れ落ち



- \* 「ことり」が静けさを強調。
- \* レトロな写真に懐かしさを覚える。こんな何気ない一瞬が心の機微を感じる時もある。
- \* 今の時代若い人は知らないでしょうが、私の小さい時は火鉢にしがみついて暖をとっていたのを思い出します。
- \* 炭が崩れ落ちるほど手あぶり? 居眠りも出たのかな?
- \* 火鉢で手焙りしたところや、「ことりと崩れ落ち」という表現がいい。
- \* 懐しい様子の中で炭の崩れる音が聞こえます。
- \* 火鉢の暖かさは格別ですよね。ことり、という表現から周りの静けさも伝わってくるようです。

**佳作7句 (平成31年1月号掲載順)**



元日はれ坂道走る配達の人

**元日はれ坂道走る配達の人 梵木**

- \* 盆も正月もない人たちにお世話になってます。
- \* 年賀状を待つ閑な自分と比べ郵便局員の働く姿を想像する、心優しき作者。



手技冴え凍み付く陶土用の美へ

**手技冴え凍み付く陶土用の美へ 池福楼**

<< 陶芸作家の匠の技をま近に見て感動しました。>>

- \* 手技だけでなく写真が冴えてますね。
- \* 外は雪でしょうか、静けさが伝わってくるようです。
- \* 熟練の陶芸家の手さばきは見事です とても良く伝わってきます。
- \* 作家への尊敬の念も含む美しい句だと思います。



急ぎ足  
いつもの朝に  
松納

**松納 (まつをさめ) いつもの朝に急ぎ足 北切雀**

- \* 何ともユニークな画像である。写真を季語と共に、この兼題を絡めた手腕は見事。
- \* 足の造形と急ぎ足で道行く人、面白い写真ですね。
- \* 面白い写真で笑っちゃいました。



## 初日背に手足の長さ競いけり 千泉

<< 寒い所なのに今年は、お天気の良いお正月でした。>>

- \* 家族揃ってのお正月。めでたい、めでたい。
- \* 面白い写真ですね。ご家族の微笑まじさが撮れてますね。
- \* 初日の出を背に浴び一年の安寧を祈る。笑顔と喜びが溢れている。
- \* 足長おじさんを思い出しました。



## 正月も踏まれ続ける天邪鬼 昼寝覚

- \* 納得していない天邪鬼の表情が面白い。
- \* 踏みつけたい天邪鬼は時々居ますね。
- \* 自分の中の天邪鬼を退治せねばと伝えてくれる。
- \* 天邪鬼をこんなにまともに見たのは初めて。



## サッカーの勝利に歓喜ハイタッチ 久芽

<< 勝ったあ！思わず近くの人とハイタッチ。「サッカー」は冬の季語です。>>

- \* 句を右上がりにして写真ともども気分高揚。
- \* ストレートな表現ながらスポーツ俳句の楽しさに満ちています。



## 初詣で少し長めに手を合わせ 準坊

<< 今年こそはと願いを込めて。>>

- \* ここ数年、願って来たことが「今年こそは」。叶うといいですね。
- \* 賽銭をはずめばあれもこれもお願いするのは人の常。川柳の風刺を持つ句。
- \* 初詣は、いつもより神妙な気持ちになりますよね。

**俳句** 投票数：26

### 一席

## 物干しにかざす手の先春ひかる 久芽 (8票)

<< まだまだ寒さの残る物干しにも柔らかな春の日差しが感じます。>>

- \* 「春ひかる」は希望溢れる季語。天気の良い日、外に洗濯ものを干すのは私の唯一好きな家事。
- \* 真っ白い洗濯物が眩しそう。
- \* 主婦の生活感そのままに、いつもの仕事に喜びを感じる心の余裕がいいですね。
- \* 春の訪れが日常生活のひとコマにきれいに表されていていいですね。
- \* 洗濯物を干していると、段々と春の日差しが強くなっていくのを感じます。春ひかる、という表現がいいですね。

**佳作6句（平成31年1月号掲載順）****雪しまき足踏み続けバスを待つ 準坊**

<< 底冷えにじっとしてられず思わず足踏み。 >>

- \* 這い上がってくる冷え、あるある。
- \* 雪しまきの季語が新鮮。雪国の気象の激しさを良く言い表している。
- \* 雪の中バスを待っていると足の底から寒気が上がってきますね。
- \* 寒そうですね。知らずに足踏みしてますね。
- \* バス停の寒い様子が目に浮かびます。

**はる隣り歩きはじめの土ふまず 北切雀**

<< 小さな足にも、ちゃんと土踏まず。 >>

- \* よちよち歩きの幼児の成長と愛らしさが滲みでています。

**小気味良く拍手ふたつ明けの春 池福楼**

<< 今年の初詣も快晴に恵まれました。 >>

- \* 気持ち良い好天の中、拍手が響く。
- \* 希望に満ちた初詣が目浮かぶようですね。
- \* 佳い年になりそうですね。
- \* 良い新年を迎えられましたね。
- \* リズムがあり希望が持てる句ですね。
- \* 爽やかな一年の幕開けですね。リズムのいい句です。



「欲しいけど値段高すぎ手が出ない」

高級デパートのセーターです。  
川柳と写真：北切雀

**小春日に混浴願う足湯かな 昼寝覚**

- \* ふっと微笑んでしまった。妙齢の女性と一緒に湯が一段と柔らかくなるのでしょうか。
- \* 「混浴」は世俗的ながら、若い？異性との触れ合いは刺激的。

**こたつなか足つかまれてねこパンチ 梵木**

- \* 炬燵の中の猫を構って反撃されたのでしょうか。炬燵の中は猫の縄張り。
- \* 熟睡の猫が言ってる「邪魔するな〜」。
- \* 楽しい一句で心も暖かくなります。
- \* 足以外はひらがなカタカナなんですね。こたつと猫身近にあるなんて羨ましい。

**四肢長き孫立つ先に初日の出 千泉**

<< 私より 少し背が高くなった孫を眩しい気持ちで見ました。 >>

- \* いつの間にこんなに大きくなったのか・・・
- \* 日の出の逆光に立つ孫の成長とともに己の老いを感じてしまう。
- \* 実に目出度い光景ですね。



## 短歌

〈準坊花シリーズ 8〉

ゆかしさを  
そっと忍ばせ香り立つ  
春を促す蠟梅の花

準坊

<< 英名 "Winter sweet" は寒い冬に甘い香りを放つ蠟梅にぴったり。(長瀬宝登山 蠟梅園) >>

- \* 青空との対比も見事に咲きましたね。思わず深呼吸。
- \* 蠟梅は梅といってもバラ科ですね。この花言葉と特徴を見事に織り込んで美しく季節を歌い上げています。



手が違う雑煮の椀に不細工な花人参を散らす年明け 北切雀

<< 型抜きは使わず、包丁で綺麗な花人参を咲かせていた母の手を思い出す。>>

- \* 今月の俳句の兼題をフォーカスしていいですね。不細工な花も味には関係なし。正月に雑煮を食す幸ですね。

## 川柳

昨日夏今日は冬日と忙しや 準坊

<< 去年の秋・冬は半袖の翌日はコートと異常気象。今年はどうなる。>>

- \* 南半球は熱波。欧米は極寒。東京は超乾燥。
- \* こちらも日中の気温差が15℃もあった日も。服装調整にあたふた。

登り坂息も上がるよ初歩き 北切雀

<< 今年もなるべく歩くように心がけます。>>

- \* 大切なのは「栄養・休養・運動」。三つ目が一番難しい。

## 写真いいね



サッカーの勝利に歓喜ハイタッチ

久芽

- \* 画面中央で巨大な赤い「手」がハイタッチしているように見えます。歓喜、熱気、歓声そして力が溢れ、いい年になりそうな予感を与えてくれる写真です(北切雀)。

\* iSAMUさんの毎月の花の写真と蘊蓄は勉強になりますね。お花への興味をそそってくれます。



### 山茱萸（さんしゅゆ）の実

<< よく間違えられますが、稗搗節（ひえつきぶし）のニワノサンシュノキと歌われるものは、正解は庭の山椒(さんしゅ)の木だそうで、全く別の木の事だそうです。僕も長い事間違っていました。この山茱萸の実には漢方薬となるそうです。>>



### 令法（りょうぶ）の実

<< 枯れた方の令法（りょうぶ）も難しい字ですが、夏に白い花を沢山付けます。>>

- \* 作者さん、読者さん、いつもご協力ありがとうございます。多々ある不備、不手際のお見逃しも感謝です。
- \* 平成31年3月の兼題は千泉さんから「学校」、4月は準坊さんから「花見（桜）」と出ています。
- \* 平成31年2号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- \* 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
- \* 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- \* 如月2号への投票、弥生3月号作品への投稿の締め切りはともに平成31年3月20日です。
- \* 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

写楽句会038 (連絡先: kinuko\_thompson@hotmail.com)

© 2019 Sharakukai

筆責: 北切雀

校正: 準坊、池福楼

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>





























